

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	観光型ホテル（経営者） 住宅販売会社（経営者）	・東北新幹線の新青森駅の開業に伴い、今後、函館への入込が増えることになる。 ・金利低下と土地価格の低下を受けて、今後についてはやや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・依然とデフレが続いており、良くなる要素が見つからない。コンビニでも今まで498円で売っていた360gのコーヒーが、いつの間にか398円になっていた。
		商店街（代表者）	・底を打った状態にある商店街では、消費を刺激するような要因が発生しない限り、状況に変化は生じない。
		商店街（代表者）	・バーゲンの売上はある程度見込めるが、例年そうであるように、長続きは見込めず、価格がどんどん崩れていく傾向にあるため、今後についても変わらない。
		商店街（代表者）	・12月はボーナスの効果で来客数も増えるが、1～2月は今月のように元に戻る。
		商店街（代表者）	・前年と同様に年始における来街者は減少する。家族などで神社参拝した後、商店街に立ち寄らず、自宅にまっすぐ帰宅してしまう客が多い。また、1月下旬のイベントについても、前々年から、近隣町村の客が中心部を訪れることが減少している傾向にあり、現在の悪い状態は来年1～2月においても継続する。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今月の売上は久々に前年を上回ったが、特殊要因として、得意先の新規オープンが相当数あり、新規オープンする店に商品が入るだけでなく、お祝いの商品もかなり動いたことで売上を押し上げたものである。こうした特殊要因を除いた既存の取引先の売上は概ね5～10%下回っているのが現状であり、こうした基調はまだ当分続く。
		百貨店（販売促進担当）	・ボーナスが前年を下回る見込みのため、消費者の購買意欲の更なる低下が見込まれる。
		百貨店（販売促進担当）	・景況が好転するような要素は特に見当たらない。しかし、特別悪化するような事象もないため、このまま変化のあまりない状況が続く。
		スーパー（店長）	・前々月からの動きはほぼ横ばいで、大きな変化のない状態が続いている。商品単価については若干上向き傾向にあるが、来客数も、販売量も大きな流れで横ばいという沈滞ムードにあり、足踏みが続いていることから、今後も変わらない。
		スーパー（企画担当）	・政治に期待ほどの成果がなく、むしろひ弱な感じさえあることから、将来に対する不安は払しょくされず、今後も変わらないまま推移する。
		スーパー（企画担当）	・野菜の価格高騰による青果の販売好調や、ポジョレーヌヴォーも低価格ペットボトルがけん引して販売量が好調という材料もあるが、全体としては、相変わらず来客数、客単価がさえない動きとなっており、先行きの不透明感は払しょくされていない。
		スーパー（役員）	・冬のボーナスが前年よりマイナスとなる企業が多いため、年末年始の消費が伸びるとは考えにくい。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数は回復傾向にあるが、客単価の戻りが遅い。家電エコポイント制度等の影響で家電等の買回り品の動きは良くなっているようだが、その分、最寄り品が節約傾向にある。冬の賞与が好調であれば良いが、前年並みであれば、年末年始の客単価の伸び悩みは避けられない。
		コンビニ（エリア担当）	・年末商品の単価が低下していることや予約商品の数量が苦戦していることから、今後については厳しいまま変わらない。
		衣料品専門店（店長）	・客との会話から、今後についてはなかなか良くなるのではないかとみている。
乗用車販売店（従業員）	・周辺の状況等に景況が好転する要素が見当たらない。		
乗用車販売店（従業員）	・低価格帯の商品が不調である。エコカー補助金の終了で客が休息期に入っており、今後も厳しいまま変わらない。		
乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金で需要を先食いした影響がしばらく続くため、今後も厳しいまま変わらない。		

	高級レストラン（スタッフ）	・年末のクリスマスやお正月を控え、今年は家で過ごす傾向が強いと予想されているため、ケーキやおせち料理などの販売は期待できるが、レストラン利用が減少する恐れがある。
	旅行代理店（従業員）	・海外旅行は円高効果で好調だが、朝鮮半島の情勢が不安材料となっている。国内旅行は道内航空便の減便や機材縮小の影響で伸び悩みが続いている。
	旅行代理店（従業員）	・先行受注状況を見ると、国内旅行は12月が前年比104%、1月が前年比124%とやや良いが、海外旅行は12月が前年比75%、1月が前年比93%と前年を下回っていることから、今後も全体的な状況はあまり変わらない。
	旅行代理店（従業員）	・客の低価格志向が変わっていないことから、景気を上方修正するにはまだ早い状況にある。
	旅行代理店（従業員）	・先行受注状況があまり変わっていないため、今後も変わらないまま推移する。
	タクシー運転手	・電話注文や来客数の増える要素が思い当たらないことから、今後も変わらないまま推移する。
	観光名所（役員）	・今後の観光入込のプラス材料として、新幹線の新青森駅延伸があるものの、海外客については円高のほか、尖閣問題、北朝鮮問題とマイナス材料が多く、先行きに不透明感が増してきている。
	その他レジャー施設（職員）	・平日の利用料金を大幅に安くすることで、利用客の増加が見込めるが、全体的な売上は変わらないまま推移する。
	美容室（経営者）	・周辺に良くなる様子が一向にみられないことから、今後も変わらないまま推移する。
やや悪くなる	百貨店（売場主任）	・3か月予報が出たが、12月も暖冬ということで、コート等の防寒物の動きが厳しくなる。また、ボーナスも含めて、賃金が低くなっていることから、高額品の動きが悪く、巣ごもり消費の傾向も踏まえると、今後の衣料品の動きは非常に厳しくなる。
	百貨店（役員）	・エコカー補助金の終了、家電エコポイント制度の付与ポイント半減と国の施策は終わりつつあり、今後は消費者の消費意欲が落ちることになる。
	スーパー（店長）	・売上が思うように上がらず焦っているのは店だけであり、客は冷静に目玉商品に集中していること、お歳暮ギフト等も早めに展開しても、客が購入するのは遅くなってきていることなどから、今後についてはやや悪くなる。
	スーパー（店長）	・家電エコポイントの付与ポイントが11月一杯で半減するため、今は家電関連が特需で売れているが、今後については動きが一気に悪くなる。また、暖冬傾向がみられ、雪も遅れていることから、衣料品の低迷も続く。
	スーパー（役員）	・年末を控えて、地場企業のボーナス等の状況を確認しても、あまり良い状況とは言えず、今後についてはシビアな販売活動を行わなければならなくなる。
	コンビニ（エリア担当）	・たばこの駆け込み需要の反動の影響を除くと、客単価に大きな変化はみられない。しかし、現在の状況が今後も続くという感覚も持てない。購買に力強さが感じられないことから、客の心理が消費を控える方向に向かっている。
	コンビニ（エリア担当）	・家電エコポイント制度変更前の駆け込み需要で家電に大きく消費が流れている。これはボーナスの前倒しでの消費とみられることから、年末に向けて消費が厳しくなる。
	家電量販店（経営者）	・今後はエコポイントが半減するため、今月ほどの伸びは期待できない。
	家電量販店（店員）	・12月以降、エコポイント需要で伸びた分の反動が出てくるため、今後についてはやや悪くなる。
	乗用車販売店（従業員）	・今後の販売環境は厳しく、来年の2～3月にかけて売上は苦戦する。
	高級レストラン（スタッフ）	・薄型テレビの駆け込み需要の反動が、向こう3か月で外食産業にも影響してくる。
	観光型ホテル（スタッフ）	・これからの北海道観光はスキー商品がメインとなるが、夏からの来客数の伸び悩みが改善するような要因が見当たらない。
	タクシー運転手	・家電エコポイント制度やエコカー補助金の成果かもしれないが、今年に入って少しずつ売上は上がってきていたが、2～3か月前から急激に売上が落ち込み始めている。こうした状況から、今後2～3か月先の景気はやや悪くなる。
	通信会社（社員）	・北海道は雪のシーズンとなり、家にこもる傾向になるため、積極的に何かをしようという動きが今までよりも減ってくる。

		<p>通信会社（企画担当）</p> <p>観光名所（職員）</p> <p>美容室（経営者）</p> <p>住宅販売会社（従業員）</p>	<p>・高価格の通信機器の予約が伸び悩んでいるため、今後についてはやや悪くなる。</p> <p>・北朝鮮問題や中国経済の今後の不透明感など、海外客については先が読めない状況にある。国内客についても、家電エコポイント制度の変更や政局の不安定さなど、利用客が増加する要素が見当たらない。</p> <p>・来春の就職を予定している子供のいる家庭では、もし就職できなかった場合は養うための支出が相当の負担になるのではないかという危機感を持っている。そのため、極端に支出を控えている傾向が顕著に出てきている。</p> <p>・客の低価格志向は依然としてかなり強く、実際に販売しているマンションの価格低下が続いている。価格要因以外の要素で客がマンションの購入に動いてくれるようにならないと先行きの見通しは厳しい。</p>
悪くなる	<p>一般小売店〔土産〕（経営者）</p> <p>家電量販店（店長）</p> <p>家電量販店（地区統括部長）</p> <p>観光型ホテル（経営者）</p> <p>タクシー運転手</p> <p>その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）</p>	<p>・円高が収まらず、政府のごたごたが続いていることが、国民の不安感を高めている。客も消費意欲をなくしており、実際に来店した客からは、今は本当に必要な物しか買わないという会話がよく聞かれる。これらのことから、今後については悪くなる。</p> <p>・エコポイント制度の付与ポイントが半減するため、今後については悪くなる。</p> <p>・11月までのエコポイント特需の反動で、大幅な売上ダウンが見込まれる。</p> <p>・年末年始の曜日配列が悪いことや、旧正月の日程が悪いため、高単価設定のピーク期間が短く、売上確保が難しい。更に、政府の経済政策に期待感が乏しいことや政権運営が不安定なことから、先行き不透明感が強く、レジャー支出の減少が見込まれる。</p> <p>・ハイヤー協会加盟の会社の9割が10%の減車を進めているが、利用客が減少しているため、減車してもタクシー1台当たりの売上は減っている。当社もタクシーの台数を10%減らしたものの、1台当たりの売上が伸びないため、会社全体の売上も減収となっており、今後も増収が期待できない。</p> <p>・冬期に入ることから、工事等が減少することになり、今後の利用客が減少する。</p>	
企業動向関連	<p>良くなる</p> <p>やや良くなる</p> <p>変わらない</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>家具製造業（経営者）</p> <p>金属製品製造業（役員）</p> <p>司法書士</p> <p>その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>・景気回復の遅れはあるが、大手企業の業績回復に伴う法人需要が見込める。</p> <p>・建設業者の今後の工事量があまり多くないという声が多いことから、今後も変わらないまま推移する。</p> <p>・不動産取引の停滞している状態が今後も続くため、景気が上向くことは困難である。</p> <p>・年度内は現状維持で推移する。ただし、農業の出来高が不調な分、今後の農家の消費が鈍くなれば、更に景気が悪化する。</p>
やや悪くなる	<p>食料品製造業（団体役員）</p> <p>建設業（従業員）</p> <p>輸送業（営業担当）</p> <p>通信業（営業担当）</p> <p>金融業（企画担当）</p> <p>その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）</p>	<p>・年末商品の受注期に入ったが、状況は平素月と変わらないことから、今後についてはやや悪くなる。円高やTPPの影響で改善する状況もみられない。</p> <p>・建設業界では、採算を無視した工事の受注が会社の財務的なダメージを増大させることになるため、今後については廃業や倒産が多くなる。</p> <p>・農産物において、小麦の収穫量が前年比40%減、ビート糖が前年比25%減と予想されていることから、ビート糖の輸送保管が激減する。そのため、シャーシ輸送の往復航のバランスが崩れ、収支に大きなマイナス影響が出てくる。</p> <p>・取引先企業の多数が下期の業績に懐疑的な予測を立てていることに加えて、当社の業績のトレンドも、取引量は横ばいであるものの、単価の下落傾向に歯止めがかからないことから、今後2～3か月先の景況感は悪化する。</p> <p>・公共工事は減少傾向が続く。政策支援効果も徐々に薄れる。また、多くの業種の冬期賞与が低率にとどまるため、今後の消費の改善も期待できない。</p> <p>・当社の主力ユーザーである建設業界の先行きが不透明で悪化傾向にあるため、今後についてはやや悪くなる。</p>	

		<p>その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）</p> <p>・鉄骨加工の中型物件が多数出てきており、加工工場の仕事は増えているが、受注単価が低く、設備機器、工具関係全般の購入意欲は少ない。消耗品ですらその都度必要に応じて購入している状態であり、今後の見通しは暗い。</p>	
悪くなる	食料品製造業（役員）	<p>・繁忙期である秋の受注販売状況が思わしくなかったことから、元々受注が落ち込むこれからの時期は更に悪くなる。</p>	
	建設業（経営者）	<p>・手持ち工事がかかり完成してくるため、今後は稼動が落ちてくる。また、厳冬期を迎えて、官民ともに受注はほとんど見込めないことから、今後については悪くなる。</p>	
	輸送業（支店長）	<p>・前年は自民党政権の補正予算が付いた関係で、秋口から冬場にかけてかなりの仕事があったが、今年は補正予算の成立が遅れており、施行されるのは来春と言われている状況にあることから、今後2～3か月の仕事はかなり減ることになる。また、上期は国際コンテナが業績を引っ張っていたが、9月以降は円高の影響を受けて国際コンテナがかなり減少していることが懸念材料となっており、業績が相当落ち込むことになる。</p>	
	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	<p>・値下げ合戦をしている状態であり、利益の出るような条件の仕事が激減していることから、今後については悪くなる。</p>	
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	
	学校〔大学〕（就職担当）	<p>・新卒支援に加えて、卒業後3年以内の既卒者を対象に企業の採用意欲を喚起すべく雇用対策強化の方策が打ち出されこともあり、未内定の4年生の支援、3年生の就活力の向上に期待している。2011年の内定率の大きな回復は難しい感があるが、過去の氷河期の状況を上回る支援に期待している。</p>	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	<p>・雇用について、慎重な構えを示す企業が多く、年末等の繁忙期対応も例年に比べると採用者数を控えめに考えている企業もあることから、今後も変わらないまま推移する。</p>
		求人情報誌製作会社（編集者）	<p>・総体的には、求職者が微減傾向にあり、有効求人倍率が若干上がっているものの、常用求人は増えていないことから、今後も変わらないまま推移する。</p>
		求人情報誌製作会社（編集者）	<p>・飲食業や小売業などの個人消費関連の業種の募集は確実に回復基調にあるが、ファッション系や理美容関連等の生活関連サービス業の求人には、まだ本格的回復感がみられないことから、今後も変わらないまま推移する。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・欧州の金融不安や円高に加えて、エコカー補助金、家電エコポイント制度等の緊急経済対策の息切れなど、景気の下振れ懸念が払しょくされないため、今後も雇用情勢は厳しいまま変わらない。</p>
職業安定所（職員）	<p>・求人倍率は上昇しているが、医療・介護の伸びによるもので、製造業は4月以降、前年比でのマイナスが続いている。他の産業においても求人の減少が目立っており、今後も厳しいまま変わらない。</p>		
やや悪くなる 悪くなる	人材派遣会社（社員）	<p>・冬を迎える北海道の特殊事情として、年末年始以降の雇用情勢が厳しさを増すことがあるが、今年は流通業においては、スーパーもアパレル関係も好転の兆しは見えないことに加えて、家電量販店においても、家電エコポイント制度の恩恵が薄れ、求人の需要は低調に推移することになり、今後の雇用情勢に明るさが見えない。</p>	